

第33回 日本PDA製薬学会年会 〈1日目〉
2026年12月1日(火)

	第 1 会場 (大ホール/5F)	第 2 会場 (平安/2F)	第 3 会場 (福寿/2F)	第4会場 (桃源/2F)
10:00-10:10	PDA日本支部 会長挨拶（開会宣言） 奥田晴宏	－	－	－
10:10-11:10	特別講演（VR関連 について講演予定） Sebastian Scheler （座長：鈴木雅寿）	－	－	－
11:10-11:40	PDA会長 Craig講演（録画講演/字幕） PDA の最新情報と製薬トレンド 仮 （座長：鈴木雅寿）	－	－	－
11:40-12:00	展示企業プロモーション(1分/社)	－	－	－
12:00-12:10	休憩・移動			
12:10-13:10	<大ホールは飲食禁止>	ランチョンセミナー① ザルトリウス・ステディム・ジャパン株式会社 「人手不足時代における教育標準化と技術伝承を実現するデジタルソリューション」	ランチョンセミナー② Cytiva 「ろ過滅菌に関わる最新レギュレーショントレンド」	－
13:10-13:20	休憩・移動			
13:20-14:50	委員会セッション：関西勉強会 製造販売承認書と製造/試験手順との不整合	委員会セッション：バイオウイルス委員会 改めてワクチンについて考える	委員会セッション：無菌製品GMP委員会① PIC/S Annex 1 間接接触部品に関する対応とTR26の改訂	－
(14:50-15:20)	Coffee break(4階展示会場)			
15:20-16:20	教育に係る情報提供① 「技術移転における委託元・委託先間で考えるべきトレーニングの 具体化（仮）」 蛭田 修（熊本大学薬学部教授）	－	－	－
16:20-17:20	教育に係る情報提供② 「クオリティーカルチャー醸成に向かう研究開発／生産・品質保証の 一体感と育成の組織継続（仮）」 重光 真（Meiji Seikaファルマ顧問）	－	－	－
17:20-17:45	休憩・移動			
17:45-19:15	-	情報交換会 および 川村賞表彰式		－

※会場受付は9：00～ 5階受付

第33回 日本PDA製薬学会年会〈2日目〉
2026年12月2日(水)

	第 1 会場 (大ホール/5F)	第 2 会場 (平安/2F)	第 3 会場 (福寿/2F)	第4会場 (桃源/2F)
9:00-10:30	委員会セッション：原薬GMP委員会 原薬の連続生産におけるCSV、 ADC製造における不純物除去の管理戦略	委員会セッション：QAQC委員会 Quality Culture醸成に関する理論と実践 ～対話による意味づけと行動による腹落ち～	－	準備出来次第 1)注射剤不溶性異物目視検査 説明会および体験会 2)Sebastian SchelerによるVRデモ体験会（予約制）
10:30-10:40	休憩・移動			
10:40-12:10	委員会セッション：技術教育委員会 ADC（抗体薬物複合体）の開発・製造における管理戦略と規制 動向	委員会セッション：開発QA委員会 外部リソース活用時代のCMC開発と品質保証	委員会セッション：メディカルデバイス委員会 新技術時代の品質保証と規制対応	1)注射剤不溶性異物目視検査 説明会および体験会 2)Sebastian SchelerによるVRデモ体験会（予約制）
12:10-12:20	休憩・移動			
12:20-13:20	＜大ホールは飲食禁止＞	ランチョンセミナー③ メルク株式会社 「FDAのGMP査察とその対応/ろ過滅菌に関する指摘事例」	ランチョンセミナー④ WuXi Biologics 「From Complexity to Control：バイオ医薬品開発における 分析・ウイルス安全性戦略」	-
13:20-13:30	休憩・移動			
13:30-15:00	委員会セッション：無菌製品GMP委員会② ●●●	委員会セッション：教育システム委員会 持続可能な医薬品製造所組織をめざして	－	1)注射剤不溶性異物目視検査 説明会および体験会 2)Sebastian SchelerによるVRデモ体験会（予約制）
15:00-15:30	Coffee break(4階展示会場)			
15:30-16:30	招待講演 厚生労働省医薬局 監視指導・麻薬対策課 企画調整専門官 重田 健介 (座長：嶋澤るみ子)	－	－	－
16:30	閉会挨拶 渡邊英二(日本PDA製薬学会 特別顧問) 仮 (紹介：桑子正行)	－	－	－

※会場受付は8：30～ 5階受付